

受験番号

\*評点

わたしたちがもっている既存のことばに新しい意味を

込めて、自分が見たり感じたりしたものを言表すという方法。

問一

ウ

問二

生活のためにという枠

問三

問四

ウ

日常の事物を表すことばを使いながら、その背後に、日常の世界を超えた世界をくり広げていく力が詩歌にはあるから。

問五

(例) 日本語のいろいろなことばを知らぬことを知る勉強を  
していきたくと思います。なぜなら、多くのことばを知っている  
ほど経験を上手く伝えられると思うからです。

問六

A	イ
B	ア
C	エ
D	ウ

問二

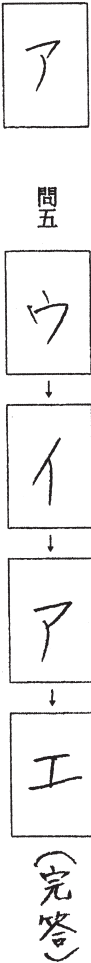
ウ
エ

問一

野生植物が次の世代の子孫である花粉を散らばらせている

問三

場所。



問四

エ	1
オ	2
イ	3
ア	4
ウ	5

問三

退く	①
熱い	②
覚める	③
捨てる	④
従う	⑤

問四

\*